



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2017年 9月 1日発行

9月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 79 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

常軌を逸した北朝鮮ミサイル騒動 軍事力でなく対話による解決を！

9月議会 開会中

(2-3面参照)



杉谷伸夫・62才
向日市議会議員・無所属
上植野町イトーピア在住

まるで空襲警報、新幹線停止、休校の学校も

8月29日朝、日本列島は異様な空気に包まれました。「北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい」と政府がJアラートを12道県に発信。新幹線が一時運転を見合わせ、臨時休校した学校も。戦時中の空襲警報のようで国民を不安に陥れました。

私は、北朝鮮のミサイル発射を厳しく非難します。しかしこれは、平和解決を願う全世界の声を無視して互いに軍事挑発を繰り返してきた北朝鮮・金正恩と米・トランプの双方の責任です。アメリカはこの間、世界最大規模の米韓合同軍事演習を行い、軍事圧力をかけ続け、北朝鮮は相次ぐミサイル発射で挑発しています。彼らが挑発ゲームの結果、一つ間違えば戦争になりかねない状況を作り出したのです。

安倍さん、あなたはどこの国の総理ですか？

これは、核兵器禁止条約に反対した安倍首相に対して、今年の長崎の平和祈念式典で、被爆者団体の代表が述べた言葉です。日本の首相なら、日本の安全確保が第一です。ドイツのメルケル首相はいち早く「軍事的な解決策はない。ドイツは非軍事的解決に積極的に関与する」と述べましたが、安倍首相は「トランプ大統領と完全に一致」「さらなる行動を」と表明し、米朝の戦争に日本が加わる愚を冒しています。日本を威嚇するミサイル発射という事態は、安倍外交の責任です。さらに「 Guamに向かうミサイル発射は日本の存立危機事態」「自衛隊は撃ち落とせるか」など、日本の武力行使を真剣に検討しています。そんな行為は北朝鮮に対する日本からの先制攻撃であり、日朝間の戦争になってしまいます。とんでもありません。

対話による解決しか道はない

軍事力によって相手を屈服させる解決策はあり得ません。安倍首相はトランプの軍事挑発路線に肩入れせず、双方が対話の席に着くように働きかけるべきです。それしか道はありません。

催し等のご案内

9月6日(水) 杉谷議員の一般質問

■午後2:00~4:00頃の見込み(2,3面参照)

9月9日(土) 午前10時~12時

「市民参加でまちをつくる会」

■場所：寺戸公民館2階・第2会議室(無料)

9月23日(土) 奨学金問題講演会

「希望する若者に無償の奨学金を」

■13時・京都市東山いきいき市民活動センター

■講師：比嘉勝子さん

奨学金返済に悩む人の会沖縄代表

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



杉谷伸夫の

活動報告

議会の一般質問予定

9月6日(水)午後2:00頃~4:00頃の見込み
インターネット生中継&録画配信が始まりました
「向日市議会」で検索 - 「議会映像配信」

高浜原発の再稼働に反対を!

裁判所が運転停止を命じた原発を動かして良いのか?

高浜原発3、4号機が今年5月、6月に再稼働されましたが、次は大飯原発3、4号機が年明けに再稼働と伝えられます。福島原発事故以降、世界の各国が脱原発に転換しているのに、当の日本は事故の真相究明もされないまま原発再稼働が進められています。大多数の国民は再稼働に反対なのに。市長には市民の安全を守る責任があります。そこで市長に以下の質問と要望をします。



- ①向日市民を守る立場から、原発を再稼働しないでほしいという市民の声を代弁して頂きたい。
- ②市長は、京都府に対してSPEED I等を活用した放射性物質拡散シミュレーションの実施を求めています。京都府はどうしてそのシミュレーションを実施しないのでしょうか。
- ③原発事故と放射線被曝から身を守る術を学ぶため、市民への啓発事業に取り組んでいただきたい。

意見書案を提案

杉谷伸夫は、以下の意見書案を提案しています。これから各議員と話し合い、可決をめざします。

■原発ゼロ社会の早期実現にむけ原発の再稼働に反対する意見書(案)

■地方税法施行規則の改正を求める意見書(案)

この春全国各地でマイナンバーの漏えい事故が続発した「住民税の特別徴収税額の決定通知書」からマイナンバー記載欄をなくすよう求めるもの。向日市も余分な支出をしなくて済みます。

JR向日町駅東口開設・駅ビル建設・企業誘致

計画の調査報告書 - 問題点やリスクがないかを検討

現在向日市は、①JR向日町駅を橋上駅にして東口を開設する、②駅東側に駅と直結した駅ビルを建設する、③東側地域の農地を区画整理して企業誘致する、という計画の詳細検討を進めています。そのもととなる基本調査が昨年度に行われており、報告書が7月にHPに公表されました。JR向日町駅の橋上駅化は8年前にも計画されましたが、多額の税金を使うことに私たち市民が反対し中止されました。今回は駅だけでなく、駅ビルや企業誘致による税収増で市民負担を抑えようというものです。さて問題点はないでしょうか。

■甘い財政見通しは誤解を与える

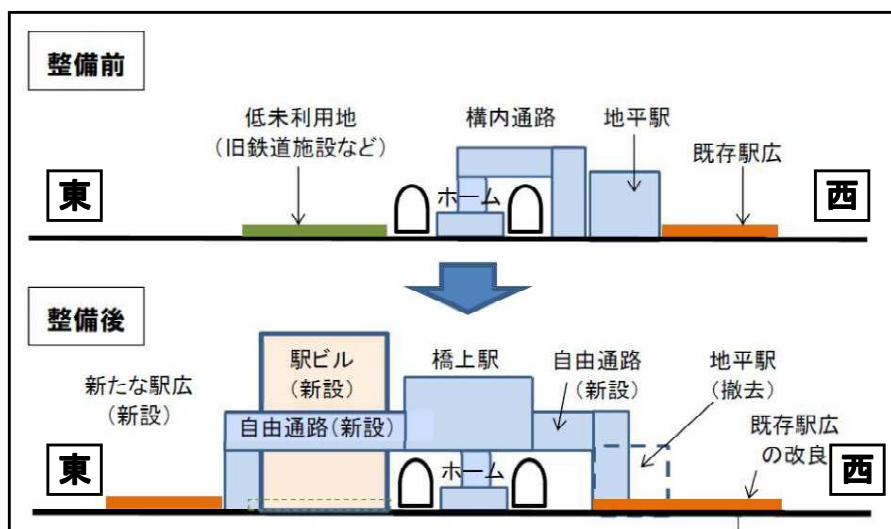
報告書では、駅ビル事業からの利益の一部拠出と誘致企業(日本電産が名乗り)からの固定資産税で、東口開設費用がまかなえるかのような誤解を与えます。東口開設費用の正確な見積り、国庫補助やJR社の拠出等も示して、向日市民が実際に負担する費用を明らかにすることが必要です。

■駅ビル事業について

駅東口開設関係費が想定31億円に対して、駅ビル事業費は想定94億円と約3倍です。駅ビル事業は向日市ではなく民間がやるものですが、この成否が全体事業を左右します。①どんな駅ビルにするのか、向日市はどのように関わるのでしょうか。②また駅ビル事業で向日市民が大きなリスクを負うことがないようにしなければなりません。

■新産業拠点エリアについて

向日町駅の東側は農地ですが、土地区画整理事業をおこなって企業誘致する計画です。もし今回の企業誘致がうまくまとまらなくても、駅東口開設と駅ビル事業は進めるのでしょうか。



< JR向日町駅の橋上駅・駅前広場・駅ビルのイメージ図 >

実効性のある公契約条例の制定を

自治体の公共事業やサービスを担う労働者に、まっとうな生活ができる賃金が保障されていないことが社会問題になっています。公契約条例は、働く人の適正な労働条件をまもることによって、良好な公共の仕事の質を確保しようとするもので、全国に広がってきています。向日市でも、私を初め幾人もの議員が制定を求め、1年前には市長が早期制定をめざすと表明しました。

- ①あれから1年、準備はどこまで進んでいるのでしょうか。
- ②形だけの条例を作るのではなく、実効性のあるものにすることが大切です。そのために、条例のめざす目的をはっきりさせることや賃金等の最低労働条件を定めることが必要です。
- ③労働者団体、経営者団体など地域の関係者が意見交換する場をもつことが必要だと思います。



悪質なブラック企業を排除し良質な企業を守ることも目的です

市民の知る権利を拡げるために

■「広報むこう」の目次の改善を

広報むこうはA4版カラー冊子となり、内容も充実してきましたが、ページが増えたので必要な情報を見つけにくくなりました。市民から「大切なことについて市から情報提供がない」という声を聞きますが、実は広報に掲載されていても気づかないことが多いようです。貴重な情報を市民が見逃すことの無いよう、広報むこうの目次を改善していただきたい。

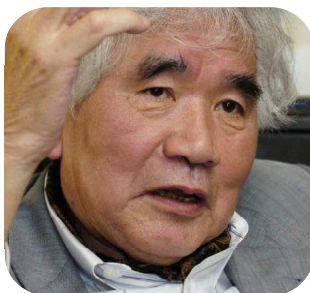
■審議会の資料は速やかにホームページに公開を

コミュニティ・バスや子ども・子育てなど、市の各種審議会では市民の注目する課題を検討しています。しかし残念なことに、議事録や貴重な資料が公開されるのは、審議会が開催されてから1、2ヶ月たって忘れて頃です。せめて資料は、審議会開催後すみやかに公開するよう求めます。

小田実の死から十年

安野 洋子

思想家であり文学者であった小田実が亡くなって今年7月で10年になった。7月30日に記念会が、24日には意見交流会と、百人以上の人が集って共に盛会だった。



小田実は「全集四十巻」を残し、1960年頃から日本の反戦運動（ベ平連など）の中心になった人である。政治の曲がり角、民主主義の危機を感じた時、小田実の集会には多勢が集まったが、ちょうど今もその時代であると思う。

小田の死後2年目より、「小田実を読む」の読書会が始まり、それも今年6月で百回を数えた。毎回参加した私は、そこで小田実の大きさ、深さを感じ、たくさんの収穫を得た。彼の思想の根底にある権力に対する市民の視点を学ばせてもらったと思っている。行動する作家は、市民の意思表示として「デモ」を大事にしていた。

「人間みなチョボチョボや」「一人でもやる、一人でもやめる」「巻き込まれながら巻き返していく」と、たくさん考えさせられる名言があるが、

折々のことば

鷺田 清一 456

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という、福沢諭吉が「学問のすすめ」の冒頭で引いたことばを彷彿とさせる。人の存在に価値の差はなく、またあってはならないという考えだ。が、作家はこれを、「天賦」のものとして上を仰いで評するのではなく、あくまで人々にまみれるなかで横向きに語る。兵庫・芦屋浜に設置された「小田実の碑」に刻まれたことば。

古今東西 人間みなチョボチョボや

小田実

2016・7・12

世の中を見る視点は、空を飛ぶ「鳥の目」ではなく、地を這う「虫の目」であるべきと強調されたことも忘れられない。

1960年にフルブライト基金を受けてアメリカ留学から帰る途中、2年かけて世界を見て歩いた「何でも見てやろう」が大ベストセラーになり、一躍有名になったが、彼の原点はギリシア哲学にある。デモクラシーの語源もギリシア語で「小さな人間」を意味するデモストと、「力」を意味するクラトスが結合したデモクラトスは、「民衆の力」デモクラシーの語源だということだ。

一人ひとり人間が主権者意識を持ち、大きな権力に対し反対、抗議して、権力の過ちを是正するのが「世直し」と述べた。戦後築きあげた民主主義が危機に陥っている時、小田実の言葉を思い返し、小さな力を合わせて、大きな力に対抗していかなくてはと思う。

再稼働に同意しないで！ 福井県知事・議会に要請

杉谷 伸夫

大飯原発3、4号機が、来年早々に再稼働予定と報道されています。原発の再稼働はすべきでない。「大飯原発再稼働に反対する全国自治体議員・市民の会」が8月21日に大飯原発の立地・周辺8自治体首長・議会に、31日には福井県議会・知事に請願・要請を行いました。

「大飯原発再稼働に反対する全国自治体議員・市民の会」は、政党所属に関わらず全国から



260名以上の議員が名を連ねています。8月31日の福井県に対する要請行動には私を含む11名の議員等が代表して参加しました。

参加者は琵琶湖の汚染、形だけの避難計画、事故時は関西一円が被害にあうこと等をそれぞれに訴え再稼働に同意しないよう求めました。